

第2次千葉市文化芸術振興計画 1次評価シート（案）

基本施策名	基本施策3_文化芸術を育む場を「支える」		
	(2)活動しやすい環境の整備		
事業名	スタートアップ・チャレンジ事業		
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人千葉市文化振興財団	
市との関わり	その他	企画提案事業	指定管理者
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先)

事業概要	開始年度	平成28年度			
	事業費	(予算) 市： 226	その他： 0	(決算) 市： 135	その他： 0
	内容	公募により市民（個人・団体）からワークショップ等の企画を提案してもらい実施する。 選考により選ばれた企画案を千葉市文化センターのスタジオ I 等を会場に2月～3月に実施する。 財団は企画の実施にあたり会場費等を助成する。			
	目的	市民からの企画を取り上げることによって、文化団体やプロアーティスト等との協働により市民主体の文化活動の活性化に寄与する。			
	目標	(数値) 応募件数2件		(昨年度)平成28年度新規事業	
	ねらい	(対象)市内を活動拠点とする（もしくはしたいと考えている）アーティスト個人または団体 (求める効果) 「文化的イベントを開催したい」「面白いと思う企画を持っている」といった潜在的な文化の担い手の掘り起し。 また、実施主体が企画の実施にあたり市民のニーズや課題点等を認識することで、今後の活動に向けての弾みになることを期待している。 あわせて千葉市文化センターの文化施設としての認知度を高めることも期待している。 (アプローチ方法)募集のチラシに、当方がサポートできることを明示（会場費の負担、参加者募集のサポート、チラシ印刷一部負担 など）。申請書にイベント企画に際して必要と思われることを盛り込み、イベントづくりの手助けをする。応募へのアプローチとしては、通常行う広報と合わせてアーティストバンクちば（以下ABC）登録アーティストへの周知。※申請書には、「企画内容が重視する視点」として第2次千葉市文化芸術振興計画の「基本施策1～5」を選択する項目を設け、施策の周知を図った。			
	実績	9月1日～20日 企画募集 応募件数3件（個人2件団体1件）（ABC登録アーティスト2件、その他1件） 10月15日 企画プレゼン・選考 10月19日 選考結果通知（決定2件、落選1件） 10月下旬～11月中旬 実施主体団体と打合せ（広報原稿・HP掲載・応募者返信文面の作成など） 1月15日～ 各実施企画への参加者募集（企画1 応募者100名、企画2 応募者①25人②22人） 2月18日 実施企画1「音楽セミナー&コンサート「そらおと」」実施 ※実施主体：C i e l（団体） 3月 4日 実施企画2「親子で楽しめる、体験型公演「三味線とジャグリングの共演」」 ※実施実施主体：宇田川陽平（個人） 3月22日 実施報告書提出			
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市政だより ■ HP ■ ポスター・チラシ ■ フェイスブック・ツイッター ■ その他（アーティストバンクちば登録アーティストへのダイレクトメール） 			

【評価指標】 4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し

1 基本 施策 との 適合	(1) 妥当性	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 基本施策3(2)活動しやすい環境の整備 に基づいての事業として、潜在的な文化の担い手である個人・団体が自らの企画を実現しやすいよう、①会場費等の負担②イベント運営のアドバイス・サポート③広報面でのサポートなどを行った。これは、単なる経費負担のみの支援とは異なり、当方の人的資源を活用した文化芸術活動への支援と言えます、妥当だと考えられる。
	(2) 達成度	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 財団側がサポートできること、また企画として求めているものを明示することによって、短い募集期間にも関わらず、募集件数を超える応募があった。今後は、募集要項の精査・募集期間の延長などを図り、より多くの個人・団体に本事業を周知していきたい。
	(3) 波及	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	(評価の理由) ・新たな試みができる場を提供することで、従来のものではない企画に触れる機会が増える。 【基本施策1(1)への波及】 ・募集要項に「参加型企画」であることを盛り込んだ。【基本施策1(2)への波及】 ・アーティスト自らが企画・運営に携わった。【基本施策2(2)への波及】 ・今後、アートマネジメントを学んだ人材や、文化芸術分野でのボランティア活動を志す人との連携によって【基本施策2(3)への波及】が期待できる。
2 戦 略 的 な 視 点 ・ 基 本 姿 勢 と の 適 合	(1) 市民主体	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	(評価の理由) ・イベントの企画・プレゼン・広報・当日運営・報告書作成に至るまで、当財団がある程度のサポートをしつつ、実施主体である市民が主体となって行った。 ・文化イベントを自主運営する団体・個人が育つことによって、地域に根ざした活動が増え、波及的に文化芸術に触れる機会が拡大することが期待される。
	(2) こども・若者	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 企画募集の際、「中学生以下を主な対象とした」参加型企画であることを盛り込んだ。今回実施した企画の内、企画1では対象を「0才から3才のお子さんとその保護者」とし、企画2は「小学生以上の方。ただし、保護者同伴であれば就学前児も可」とした。
	(3) 領域の広がり	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 今回の実施企画により、0才から3才の就学前児を参加対象の中心とした事業の需要や実施に際するポイントなどを得ることができた。また、伝統芸能(津軽三味線)と現代パフォーマンス(ジャグリング)とのコラボレーションにより、それぞれ一方だけに興味のあった観客が、もう一方の魅力を知り、興味関心の対象を広げるきっかけづくりとなったことから、異分野コラボの可能性が広がった。

3 事業のねらい	(1) 妥当性	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>新たな試みを実現しようとする際、大きな壁となる「会場」や「広報」を支援することにより、団体・個人の文化芸術活動を促すことになり、【基本施策3(2)】に対し妥当であると考えられる。</p>
	(評価に関連する数値等)		
3 事業のねらい	(2) アプローチ	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>ABC登録アーティストから2企画募集があり、いずれも意欲的な企画であったので、応募へのアプローチとしては効果的であった。募集要項で役割分担を明確にしたことで、自主的に企画を運営する気概をもった応募者であったため、実施に至るまでに大きな混乱もなく運営することができた。今後、さらに応募を増やしていくために、募集期間の長期化などを図りたい。</p>
	(評価に関連する数値等)		
4 市民との関わり	(1) 満足度	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画1では、施設の利用を考えていたところ、本事業を知って応募した。新たな場所での新たな試みであったため、躊躇していたが、思い切って実施してみたことで考えていた以上の反応があったため、今後の活動の弾みになったとのこと。 ・企画2では、以前から考えていた企画を少ないリスクで実施でき、課題点を見つけることもできたので、今後活かしていきたいとの感想から、本事業のねらいに則した満足度が得られたと考えられる。
	(評価に関連する数値等) 実施主体と実施企画参加者のアンケート結果参照		
4 市民との関わり	(2) 周知度	<input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集件数を超える応募があったものの、今年度新たに始まった事業であり、認知度は低く、さらに認知度を高め、応募者を増やしていきたい。 ・具体的には、①応募期間の延長②チラシ配布先の増加 などを行っていく。
	(評価に関連する数値等) 募集団体2件に対して応募件数3件		
5 効果	(1) 地域活性化	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら企画し、運営する担い手（アーティスト、今後は一般市民も）が増えることで、文化芸術に触れる機会が増大する。 ・新たな分野への試みがしやすくなることで、千葉発信の文化芸術が生み出される土壌をつくることができる。
	(評価に関連する数値等)		
5 効果	(2) 費用対効果	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>会場費・チラシ印刷費などの経費負担がありつつ、アーティストとの新たな協働の形が形成でき、市民の需要（どんな公演を望んでいるのか）を知ることができ、施設のアピールができたことから費用以上の効果があったと考えられる。</p>
	(評価に関連する数値等) 実施企画参加者のアンケート結果参照		